

1. 件 名：電気・計装設備の研究に関する意見交換
2. 日 時：令和3年6月17日(木)10時20分～10時55分
3. 場 所：電力中央研究所大手町本部会議室
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

池田技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

芳賀技術研究調査官

原子力エネルギー協議会：1名

東京電力ホールディングス株式会社：2名

中部電力株式会社：1名(web会議)

北陸電力株式会社：2名(web会議)

電力中央研究所：1名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）は、原子力エネルギー協議会との意見交換（令和元年9月27日面談）の結果を踏まえ、国内の電気事業者から実機材料の貸与を受け、安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」（令和2年度～6年度）において試験を実施している。

今般、規制庁と原子力エネルギー協議会は、上記安全研究プロジェクトにおいて実施している電気・計装設備の健全性評価研究（以下「本研究」という。）に関連して、意見交換を行った。

規制庁から、本研究で実施するケーブル及び原子炉格納容器電線貫通部（以下「電気ペネ」という。）の試験計画について説明した。現在、国内の加圧水型原子力発電所から取り出した低圧ケーブルについて試験を行っていること、及び電気ペネは来年度に貸与を受けて試験を行う予定であることを説明した。また、沸騰水型原子力発電所の低圧ケーブルについても試験を行いたいため、貸与の可否を検討していただきたい旨を伝えた。これに対し、原子力エネルギー協議会から、検討すると回答があった。

また、原子力エネルギー協議会から、沸騰水型原子力発電所用電気ペネに関する電力共同研究を進めており、来年3月に終了するとの説明があった。これに対し、規制庁から、必要に応じて電力共同研究の報告書の開示を依頼することを伝えた。

今後も引き続き、電気・計装設備の研究について意見交換を行うこととなった。

6. その他

提出資料：特になし。